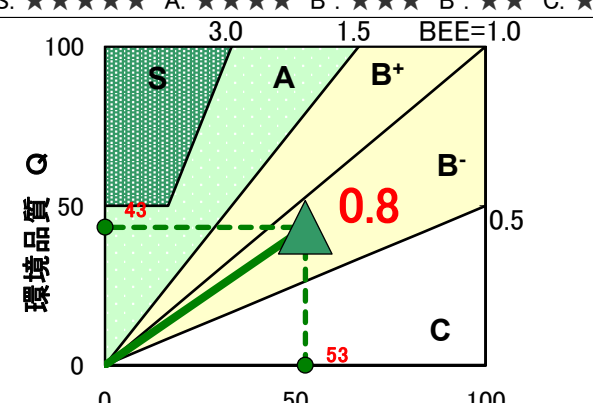
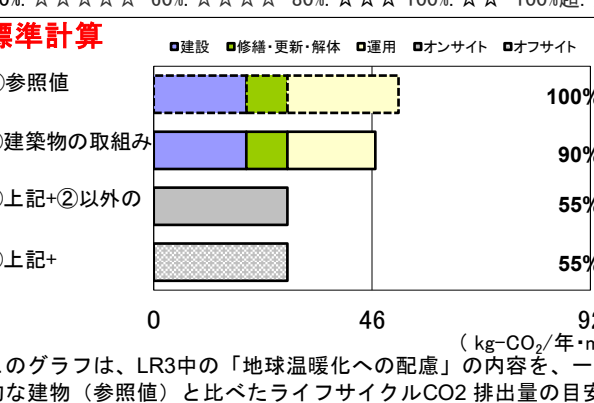
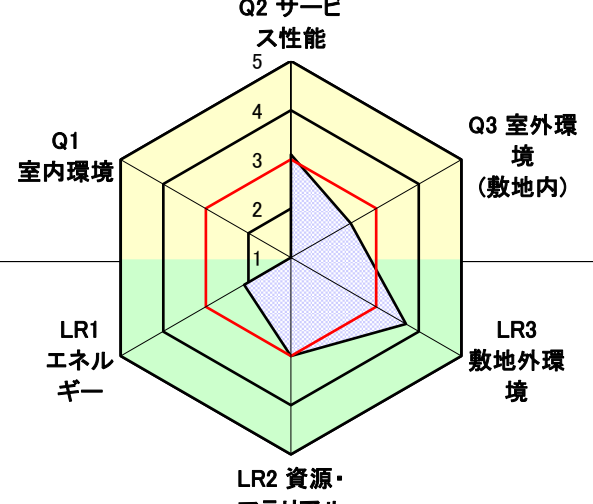
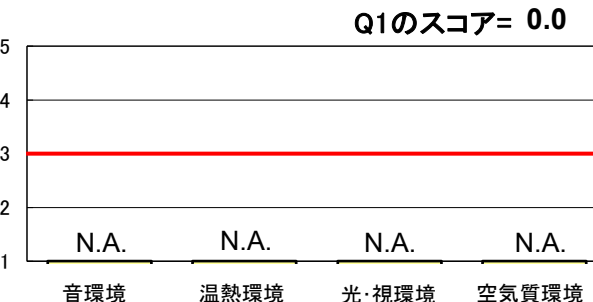
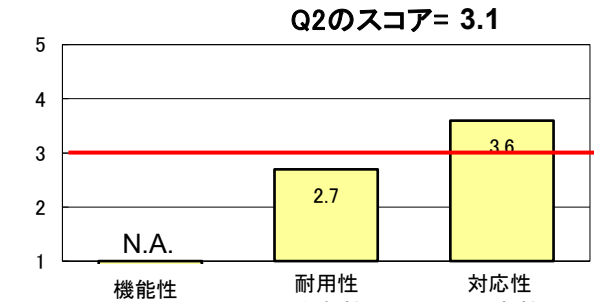
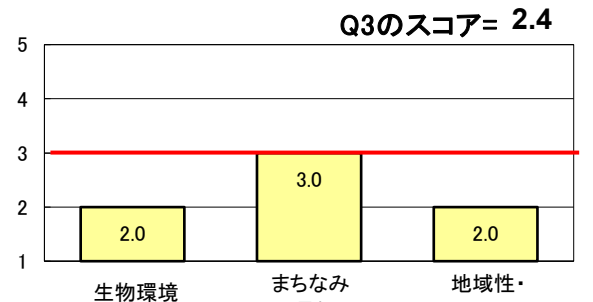
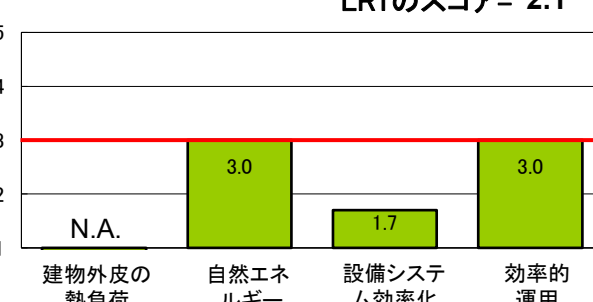
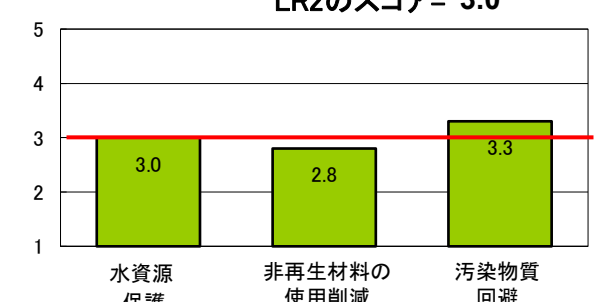
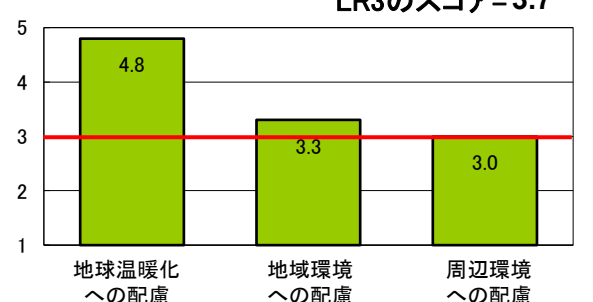


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)伊勢原市上粕屋物流施設計画	階数	地上3F
建設地	伊勢原市上粕屋11 街区 1~44 画地	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条指定	平均居住人員	78 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年3月 予定	評価の実施日	2026年3月27日
敷地面積	16,056 m ²	作成者	(株)フクダ・アント・パートナーズ一級建築士事務所
建築面積	6,427 m ²	確認日	2026年4月9日
延床面積	14,494 m ²	確認者	(株)フクダ・アント・パートナーズ一級建築士事務所

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.8 ★★★★★ S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★  環境品質 Q 環境負荷 L	☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+  このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) LR3 敷地外環境 LR2 資源・マテリアル LR1 エネルギー Q1 室内環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 0.0  音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1  機能性 耐用性・信頼性 対応性・更新性	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.4  生物環境 まちなみ・景観 地域性・アメニティ
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 2.1  建物外皮の熱負荷 自然エネルギー 設備システム効率化 効率的運用	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0  水資源保護 非再生材料の使用削減 汚染物質回避	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.7  地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 周辺環境への配慮

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
新東名高速の「伊勢原大山IC」から自動車で5分の工業地域に、「倉庫業を営まない倉庫」をS造・3Fで計画した。		特になし。
Q1 室内環境 評価対象外	Q2 サービス性能 階高3.9m以上 [壁長さ比率] < 0.1	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 特になし。	LR2 資源・マテリアル ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率55%。 燃焼機器を使用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される